

研究成果及び活動一覧（2010.1.1～12.31）〔五十音順〕

- A：著書、論文、書評など
 B：学会での口頭発表その他の活動
 C：講演、論説など
 D：学術的調査

青山英正

- A：1（論文）「連鎖する志——安政の大獄における水戸〈義民〉の詠歌」、『明星大学研究紀要 日本文化学部言語文化学科』第18号、pp.69-82、明星大学日本文化学部言語文化学科、3.31.
- B：1（口頭発表）「蘆庵文庫蔵『宗順日記』安永6年1月翻刻と注釈」、近世和歌研究会、於国文学研究資料館、2.5.
 2（口頭発表）「宣長後の国学書出版と享受——京都書林恵比須屋市右衛門（国学者城戸千楯）の活動をめぐって」、第1回幕末明治研究会、於明星大学、9.18.
 3（学会活動）日本文学協会委員
 4（共同研究）国文学研究資料館国際連携研究プロジェクト「オランダ国ライデンを中心とするシーボルト関係日本書籍資料の調査研究」（研究代表者：鈴木淳）共同研究員
- C：1（展示解説）国文学研究資料館特別展示「鉄心斎文庫 短冊文華展」（10.4.-11.12.）ギャラリートーク、於国文学研究資料館、10.22.
- D：1（学術調査）国文学研究資料館国際連携研究プロジェクト「オランダ国ライデンを中心とするシーボルト関係日本書籍資料の調査研究」（研究代表者：鈴木淳）に伴う資料調査、於ライデン国立民族学博物館、2.27.-3.6.
 2（教育活動）「日本文化研究」の授業における多摩（深大寺・妙覚寺等）の実地調査、9.9.
 3（教育活動）研究会「近現代文学研究会」における学園祭展示、明星大学日野校学園祭（星友祭）、10.30.-11.1.

上原麻有子

- A：1（論文）「翻訳と解釈」『明星大学研究紀要』[日本文化学部・言語文化学科]第18号、明星大学青梅校、pp.235-242、3.31.
 2（仏語論文）« Kuki Shūzō. Une réflexion sur la rencontre avec l'autre », *Philosophes japonais contemporains*, Jacynthe Tremblay (dir.), Les Presses de l'Université de Montréal-Collection: Sociétés et Cultures de l'Asie, pp.356-367, 3.
 3（報告）「デモ参加で抗議する若者、非難される教育機関」（フランスの最新教育問題を報告）『女性情報ファイル』No.104、日仏女性資料センター（日仏女性研究会）、p.16、12.

- 4 (英語論文) “The Philosophy of Translation: From Nishida Kitarō to Ogyū Sorai”, *Frontiers of Japanese Philosophy 7—Classical Japanese Philosophy*, ed. by James W. Heisig, Rein Raud, Nanzan Institute for Religion & Culture, pp. 305-319, 12.
- B : 1 科学研究費補助金・基盤研究B(22320005) 代表者: 京都大学 藤田正勝教授、研究課題「日本近代哲学の特質と意義、およびその発信の可能性をめぐる」、研究分担者(研究分担課題: 哲学と翻訳の問題)
- 2 (英語学会発表) “The Concept of Translation in Edo Period 1”, *Classical Japanese Philosophy: context, interpretation, development Conference/workshop*, Rein Raud 学長主催、Tallinn University (Tallinn, Estonia), 5. 23.
 - 3 (仏語学会発表) « Le concept de traduction pendant l'ère Edo au Japon 2 », XXIIIe Congrès Annuel de l'Act « Méthodologie de la recherche en traductologie », Université Concordia (Montréal, Canada), 5. 29.
 - 4 (研究会)「幕末明治研究会」主催、共同発起人: 前田雅之教授、青山英正講師、第一回研究会企画(発表者・青山講師)、明星大学日野校、9. 18.
 - 5 (国際研究会) « Traduction, tradition et modernité en Asie de l'Est » (東アジアにおける翻訳・伝統・近代) 主催、研究言語: 仏語、共同発起人: Anna Ghiglione モントリオール大学准教授、Natalia Teplova コンコルディア大学准教授、Yi Yeong-Houn 高麗大学教授、モントリオールにて発足、5.
 - 6 「フェミニズム現象学研究会」、代表: 河野哲也教授(立教大学)・齋藤瞳氏(日本大学)、共同研究者
- C : 1 (セミナー)「翻訳と近現代日本」神戸大学大学院・文学部人文学研究科、大学院教育改革支援プログラム「古典力と対話力を核とする人文学教育」、11. 1.
- 2 (講演)「西田哲学へと広がる翻訳学」神戸大学大学院・文学部人文学研究科、大学院教育改革支援プログラム「古典力と対話力を核とする人文学教育」、11. 1.
- D : 1 (教育活動) フランス人講師による特別授業を企画・通訳、「比較文化演習2C」、「翻訳論」、Aurélia Daly 氏、テーマ: 「フランスの大学制度」、7. 7/7. 9.
- 2 (教育活動) 『不思議の国のアリス』における翻訳と哲学の問題に関する展示(「アリス・イン・フィロランド」)・映画上映、「翻訳研究会」・「近代日本哲学を読む会」の合同活動を指導、明星大学星友祭、10. 30-11. 1.
 - 3 (学術調査) 科学研究費補助金・基盤研究B「日本近代哲学の特質と意義、およびその発信の可能性をめぐる」甲南大学図書館「九鬼周造文庫」における非公開資料の調査、11. 1-2.
 - 4 (教育活動)「翻訳研究会」による『赤毛のアン』の抄訳、『蝦蟇』への掲載を指導、3.

内海敦子

- A : 1 「バンティック語のアクセント」『東京大学言語学論集』29 3.25.
 2 「インドネシアにおける地域語・民族語の使用実態—バンティック語の事例を中心に—」『明星大学研究紀要—日本文化学部—言語文化学科』第十八号 3.31.
- B : 1 学会発表 ‘Sociolinguistic Situation of Manado-Malay in comparison with the indigenous languages in North Sulawesi’, The 14th International Symposium on Malay-Indonesian Languages, University of Minnesota, USA. 4.30.
 2 学会発表 ‘Applicative Construction in the Bantik Language: Descriptive and Typological Discussion’, The 20th Anniversary Meeting of the Southeast Asian Linguistics Society, University of Zurich. 6.10.
 3 研究会発表「タラウド語の conveyance voice の意味と用法」インドネシア諸語の記述的研究 2010 年度第 1 回研究会, 東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所、6.15.
 4 研究会発表「サギル諸語の reduplication—バンティック語の事例を中心に—」インドネシア諸語の記述的研究 2010 年度第 1 回研究会、東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所、10.10.
- D : 1 インドネシア国北スラウェシ州の少数民族言語調査 (バンティック語、タラウド語、トンサワン語調査) : 7.29-8.23.
 2 明星大学日本文化学科研究会「現代日本語の言葉づかい研究会」顧問

エリック R. ムーニー (Eric R. Mooney)

- A : 1 “The Influence of Hinduism on Thai Buddhism.” Bulletin of Meisei University, Department of Japanese and Comparative Culture Vol. 18, 3.31.
- D : 1 学術調査出張 タイ国 2009.12.24~2010.1.7.
 2 学術調査出張 ベトナム国 2010.12.22~2011.1.8.

岡田恒雄

- A : 1 (論文)「観客を挑発する異化効果—プレヒト『アルトゥロ・ウイの(抑えることもできた)興隆』—」『明星大学研究紀要』[日本文化学部・言語文化学科] 第 18 号、pp.126-134、明星大学青梅校、3.31.
- B : 1 シンポジウム／パネリスト—発表題目「早池峰神楽は能の先行芸能か」(総合題目『能学界と能学界』のうち)(他のパネリスト:松田存、堀上謙)世阿弥学会主催、第 20 回世阿弥忌の集い、アカデミー茗台、8.8.
 2 早稲田大学演劇博物館客員研究員

- C : 1 (講演)「演劇の東西～出会いと革新～」第6回明星大学教養セミナー(他の講師: 芦野孝男)、明星大学26号館102教室、12.18.
- D : 1 スイス連邦共和国バーゼルのファスナッハトー調査、2.22・23・24.
2 プレヒト亡命期の演劇の資料調査、ベルリーンのプレヒト・アルヒーフにおいて資料調査、2.26・27.
3 プレヒト『下田のユードイット』(原作:山本有三『女人哀詞』)の資料調査、ベルリーンのプレヒト・アルヒーフにおいて資料調査、8.25・26.
4 オーストリア共和国キルヒシュラクにおいてパッション(受難劇)調査、8.28.
5 独逸連邦共和国オーバーアンマーガウにおいてパッション(受難劇)調査、8.31.

勝又 基

- A : 1 (編著)『『本朝孝子伝』本文集成』、明星大学 ※明星大学平成二十一年度特別研究費(共同研究助成費)報告書、3.10.
2 (論文)「松平忠房の孝子伝——漢文孝子伝の役割と展開」、『近世文芸』91、pp.30-43、日本近世文学会、1.15.
3 (論文)「講談「中江藤樹」の変容——「雪の別れ」孝行譚を中心として」、『講談と評弾——伝統話芸の比較研究——』、pp.19-35、八木書店、3.30.
4 (論文)「近世前期における仮名教訓書の執筆・出版と女性」、『民衆史研究』79、pp.1-11、民衆史研究会、5.22.
5 (解題)国文学研究資料館平成21年度研究成果報告書『八戸市立図書館所蔵南部家旧蔵本実録解題』、人間文化研究機構国文学研究資料館、2.15.
※『敵討妹背の紙駒』等4篇の解題を担当。
- B : 1 科研費補助金(若手研究(B))『『本朝孝子伝』研究——「孝」から見た近世前期文学の再検討』(課題番号207200063)研究代表者
2 文学研究資料館研究プロジェクト「近世後期小説の様式的把握のための基礎研究」(代表 大高洋司)共同研究員
3 国文学研究資料館研究プロジェクト「19世紀の出版と流通」(代表 大高洋司)共同研究員
4 科研費補助金(基盤研究(B))「旧台北帝大に遺存する国学者・長沢伴雄の旧蔵書に関する総合的研究」(研究代表者 高橋昌彦<福岡大学>)研究分担者
5 明星大学平成二十一年度特別研究費(共同研究助成費)「説話文学の中世と近世——『本朝孝子伝』を中心として」研究代表者
6 (学会活動)日本近世文学会ホームページ委員
7 (口頭発表)「高山彦九郎と若狭の孝子」、北陸古典研究会(兼六荘)、8.28
8 (口頭発表)「高山彦九郎と新島の孝子」、金沢大学国語国文学会(金沢大学サテラ

- イトプラザ)、10.2.
- 9 (口頭発表)「高山彦九郎と孝子伝」、九州近世文学研究会(九州大学国語国文学研究室)、12.23.
- C: 1 (講演)「講談の中の孝子伝に見る中江藤樹」、中江藤樹心のセミナー「郷土の先人に学ぶ集い」(安曇川ふれあいセンター)、9.25.

古田島洋介

- A: 1 論文:「大正天皇御製詩閲読——海外事情に関する詞藻——」、《大手前大学比較文化研究叢書》6:川本皓嗣・上垣外憲一[編]『一九二〇年代 東アジアの文化交流』pp.128-151、思文閣出版、3.1.
- 2 論文:『『これならわかる返り点』後始末——陳謝・回答・懸念——』、明星大学紀要「日本文化学部・言語文化学科」第18号、pp.1-22、3.25.
- 3 書評:金原理『日本の古典と漢文学——和歌と漢文学・類書・大宰府と道真 他——』(熊本出版文化会館)、日本比較文学会「比較文学」第52巻、pp.156-160、3.31.
- 4 論文:「漢文教育の内憂外患」、国語問題協議会報「国語国字」第194号、pp.11-27、9.17.
- B: 1 国際日本文化研究センター研究部客員教授、4.1.~
- 2 研究発表:「潘飛声をめぐって——ベルリン大学附属「東洋語学校」講師時代」、国際日本文化研究センター共同研究会:稲賀繁美教授班「東洋美学・東洋の思惟を問う」第三年次第三回研究会、国際日本文化研究センター第五共同研究室、6.26.
- 3 研究発表:「纏足の再把握——身体論としての視点を求めて」、国際日本文化研究センター共同研究会:牛村圭教授班「文明と身体」第二年次第一回研究会、国際日本文化研究センター第五共同研究室、7.31.
- 4 研究発表:「日本漢詩——近代化の萌芽と挫折」、東アジア比較文化国際会議2010日本大会、奈良県橿原ロイヤルホテル(第2会場)、10.24.
- C: 1 論説:「歴史的仮名遣と旧仮名遣を峻別せよ」、明星大学人文学部日本文化学科HOME PAGE「ことばと文化のミニ講座」vol.45、4.1.(掲載開始)
- 2 講演:「日本漢文学的過去・現在・未来——關於漢文訓読与漢文教育」〔中国語〕、台湾大学文学院中国文学系「文化典範的建立与轉化研究計画」招聘講演、国立台湾大学文学院中国文学系會議室、台湾・台北市、5.14.
- 3 シンポジウム・パネリスト:日本教育再生機構〔主催〕第4回日本文明論シンポジウム「日本文明における天皇」、壇上発言『『万葉集』冒頭二首に見る天皇の文化的存在』、帝京平成大学(池袋)沖永ホール、6.5./〔発言要旨〕誌上採録:産経新聞社「正論」平成22年8月号、pp.225-229、7.1.
- 4 体験授業:「世にも不思議な「返り点」——国際的視野から《漢文》を觀る——」、

明星大学オープンキャンパス、28号館202教室、8.8.

- 5 論説：「歴史的仮名遣と旧仮名遣を峻別せよ」（上記1の要旨）、国語問題協議会「国語国字」第194号、pp.63-64、9.17.
- 6 講演：「漢文訓読 vs. 現代中国語——古典中国語への接近方法——」、第15回札幌大学孔子学院講演会、札幌市TKPきょうさいサロン8F「高砂」、11.6.
- 7 論説：「日本語の歴史の長さとおそこの描写」、渡部昇一ほか『日本通』pp.217-232、育鵬社、12.30.

柴田雅生

- D：1 学生による自主研究会「日本語研究会」の顧問として、青梅校にて開催された「夏休み小学生体験講座」における「日本語であそぼう おいでよことばの森へ」の企画監修を担当、8.7.
- 2 学生による自主研究会「日本語研究会」の顧問として、日野校星友祭における展示の企画監修を担当、10.30-11.1.

田村良平（筆名：村上湛）

- A：1 研究：「能〈墨染櫻〉完曲の復興上演について」、『明星大学研究紀要 日本文化学部・言語文化学科』18号、pp.83-94、明星大学青梅校、3.31.
- 2 評論：「圧倒的な素狂言〈武悪〉～2月の能・狂言」、『能楽タイムズ』4月号、能楽書林、4.1.
- 3 評論：「憤怒の役者～山本則直追悼」、『能楽タイムズ』6月号、能楽書林、6.1.
- 4 評論：「摧蘭餘薫～哀悼・關根祥人」、『能楽タイムズ』8月号、能楽書林、8.1.
- 5 評論：「背筋の伸びた役者～若松健史を悼む」、『能楽タイムズ』11月号、能楽書林、11.1.
- 6 評論：「演劇季評・定評すなわち疑問～平成二十一年上半期の歌舞伎状況」、『歌舞伎～研究と批評』44号、pp.70-80、歌舞伎学会、2.1.
- 7 評論：「世阿弥のつぶやき」、『TTR 能プロジェクト夏公演〈砧〉パンフレット』、9.12.
- 8 評論：「〈戀重荷〉再構成試演について」、『第16回大槻文蔵の会パンフレット』、10.9.
- 9 評論：「大槻能楽堂〈戀重荷〉構成・再演出報告」、『能楽タイムズ』3月号、能楽書林、3.1.
- 10 聞き書き：「富田清邦・藝を語る～〈秋の曲〉〈月の傾城〉〈七小町〉」、『第24回富田清邦地歌箏曲演奏会パンフレット』、11.19.
- 11 解説：「本日の〈戀重荷〉構成・再演出について」、『大槻能楽堂自主公演パンフレット』、1.30.
- 12 解説：「本日の演目について～狂言〈二千石〉、能〈江口 平調返〉、〈夜討會我〉」、『第8回塩津哲生の会パンフレット』、10.2.
- 13 解説：「能〈邯鄲 置鼓・働〉、狂言〈餅酒〉」、『国立能楽堂』317号、pp.4-5、独

- 立行政法人国立能楽堂、1. 6.
- 14 解説：「狂言〈千切木〉、能〈浮舟〉」、『国立能楽堂』318号、pp. 6-7、独立行政法人国立能楽堂、2. 3.
- 15 解説：「狂言〈土筆〉、能〈西行桜〉」、『国立能楽堂』319号、pp. 8-9、独立行政法人国立能楽堂、3. 3.
- 16 解説：「狂言〈名取川〉、能〈熊野 読次之伝・村雨留〉」、『国立能楽堂』320号、pp. 8-9、独立行政法人国立能楽堂、4. 7.
- 17 解説：「狂言〈太子手鉢〉、能〈采女〉」、『国立能楽堂』321号、pp. 8-9、独立行政法人国立能楽堂、5. 8.
- 18 解説：「狂言〈水掛簪〉、能〈天鼓 弄鼓之舞〉」、『国立能楽堂』322号、pp. 4-5、独立行政法人国立能楽堂、6. 2.
- 19 解説：「狂言〈大般若〉、能〈蟻通 真之働〉」、『国立能楽堂』323号、pp. 4-5、独立行政法人国立能楽堂、7. 7.
- 20 解説：「狂言〈菊慈童 遊舞之楽〉、狂言〈舟ふな〉、能〈鸚鵡小町〉」、『国立能楽堂』325号、pp. 15-17、独立行政法人国立能楽堂、9. 1.
- 21 解説：「狂言〈才宝〉、能〈恋重荷〉」、『国立能楽堂』326号、pp. 12-13、独立行政法人国立能楽堂、10. 6.
- 22 解説：「狂言〈箕被〉、能〈姨捨〉」、『国立能楽堂』327号、pp. 4-5、独立行政法人国立能楽堂、11. 1.
- 23 解説：「仕舞〈熊坂 長祚〉、狂言〈弓矢太郎〉、能〈屋島 弓流・語掛・継信語〉」、『国立能楽堂』328号、pp. 16-17、独立行政法人国立能楽堂、12. 1.
- C : 1 平成22年度(第61回)芸術選奨推薦委員(演劇部門)
- 2 平成22年度(第65回)文化庁芸術祭執行委員会審査委員(関東・演劇部門)
- 3 平成22、23年度文化庁新進芸術家海外研修制度協力者会議委員(演劇・舞台美術等分野)
- 4 平成22、23年度文化庁国際芸術交流支援事業・芸術団体人材育成支援事業協力者会議委員(舞踊分野)
- 5 大東文化大学文学部非常勤講師(大学院科目「日本文化」担当)
- 6 明星大学人文学部全学教務委員長・同全学FD委員長
- 7 大槻能楽堂の委嘱により、原型に準じた能〈戀重荷〉の能本改訂および再演出を務める。(1. 30. 「大槻能楽堂自主公演」において上演。シテ：大槻文藏)
- 8 梅若玄祥氏の委嘱により、新作能楽舞踊劇〈鷹の井戸〉の脚本執筆および演出助言を務める。(6. 26. 国立能楽堂、6. 28. 梅田芸術劇場シアター・ドラマシティ「至高の華」公演において上演。シテ：梅若玄祥、共演：譚元元・森山開次)
- 9 セルリアンタワー能楽堂の委嘱により、同能楽堂特別企画公演「能と箏曲～芙蓉の面影」の制作助言を務める。(10. 24. セルリアンタワー能楽堂において公演。講演「會者定離の怨と艶」：馬場あき子、山田流箏曲〈長恨歌曲〉箏タテ：山勢松韻、能〈楊貴妃 臺留〉シテ：梅若玄祥)

- 10 「第24回富田清邦地歌箏曲演奏会」の制作助言を務める。(11.19. 紀尾井小ホールにおいて公演。)
 - 11 講演：「能〈道成寺〉について」、第3回煌の会事前講座、鏡仙会能楽研修所、5.4.
 - 12 講演：「能〈海人〉について」、第7回大牟田能、大牟田文化会館、5.9.
 - 13 講演：「能〈砧〉について」、TTR能プロジェクト夏公演、大阪能楽会館、9.12.
 - 14 講演：「能〈井筒 物着〉、〈俊寛〉について」、セルリアンタワー能楽堂定期能11月公演、セルリアンタワー能楽堂、11.6.
 - 15 講演：「能〈隅田川〉、狂言〈八尾〉について」、第6回三聲會事前講座、鏡仙会能楽研修所、11.15.
 - 16 講座：「能をどう見るか・虐げられた神～能〈白髭〉の研究と鑑賞～」、朝日カルチャーセンター新宿校、1.21, 2.4, 18.
 - 17 講座：「能をどう見るか・獅子の藝の系譜～能〈石橋〉の研究と鑑賞～」、朝日カルチャーセンター新宿校、5.6, 6.3, 17.
 - 18 講座：「能をどう見るか・雅心と老狂～能〈鸚鵡小町〉の研究と鑑賞～」、朝日カルチャーセンター新宿校、7.15, 29, 8.19.
 - 19 講座：「能をどう見るか・上村松園の愛した能～画題と能劇～」、朝日カルチャーセンター新宿校、11.18, 12.2, 16.
- D：1 平成22年度日本文化特論Cにて学生と共に数番の能・狂言を見(前期期間中数次)、喜多流シテ方・塩津哲生氏自宅能舞台にて塩津氏指導による体験学習を行う。7.30.
- 2 日本文化学科学生研究会「源氏物語研究会」会員有志学生を引率し、御所そのほか京都の史蹟を見学。8.30～31.

服部 裕

- A：1 「ペーター・ハントケの『真の感覚の時間』における主観主義的な語りが意味するもの」、明星大学研究紀要日本文化学部・言語文化学科、第18号、pp.19-30、2010年3月
- D：1 学科学生との自主的研究会である「映画研究会」を9回開催し、映画鑑賞会と討論会を7回実施した。主に1960年代のアメリカン・ニューシネマの作品(『イーゼル・ライダー』、『俺たちに明日はない』他)を取り上げ、アメリカの理想と現実の落差を批判的に検証すると共に、所謂「自由な社会」の実態について討論した。4.28～10.6.
- 2 星友祭(大学祭)において、「映画研究会」主催の映画上映会と討論会を開催した。作品はいずれも南アフリカのアパルトヘイト政策をモチーフとした『パワー・オブ・ワン』(ジョン・G・アヴィルドセン監督、1992年)と『インヴィクタス』(クリント・イーストウッド監督、2009年)を取り上げ、世界の「差別とその克服」をテーマとして討論した。10.30/31.

深澤 清

- A : 1 (論文)「童話『幸福の王子』はなぜ「幸福」と言えるのか」、『明星大学研究紀要 日本文化学部・言語文化学科』第18号、pp.134-148、3.25.
- B : 1 (学会発表)「青少年にとっての理想的な居住空間の在り方に関する研究—相反する2つの宿泊施設の比較を通して」第19回日本健康教育学会、女子栄養大学、11.27.
2 (学会発表)「中等教育の特別活動におけるウォーキングプログラムの在り方—大学生のウォーキンググループの比較実験を通して」第14回千葉県学校保健学会、聖徳大学、12.5.
- C : 1 (講演)「青少年にとって旅をすることの意義とは」、青少年国際野外旅行研究会、日本ユースホステル協会、9.15.
2 (学会ワークショップ)「豊かな心を築くための健康教育」第19回日本健康教育学会、女子栄養大学、11.27.
- D : 1 (教育活動)「地図を読む」多摩丘陵ハイキング 7.10.
2 (教育活動)伊豆の文学散策 学生引率 9.12~13.
3 (教育活動)「野外活動」御嶽山登山 12.22.

前田雅之

- A : 1 論文：古典的公共圏と他者
『物語研究』10号 平成22年3月 111~129頁
2 論文：僧侶の恋歌(1) 勅撰集編(上)
『明星大学日本文化学部紀要』18号 平成22年3月 23~50頁
3 論文：反動的な古典との出会い方のすすめ
『日本文学』平成22年4月 2~15頁
- B : 1 学会発表：高麗人の相と倭相—観相における和漢の問題
国際シンポジウム「東アジアの今昔物語集と予言文学」平成22年3月20日(於北京日本学センター)
2 講演：源氏物語はどのように読まれたか
明星大学育星会記念講演 平成22年12月4日
3 学会活動：説話文学会の委員、日本文学協会委員。
4 「南北朝から江戸初期における書物の移動に関する基礎的研究」、文科省科学研究費(基盤研究C)、研究代表者。
- C : 1 論説：古典学者のやぶにらみ26 古典・国民・日本 国民たることを忘れた日本人のために(『表現者』28 隔月刊行雑誌 平成22年1月)78~81頁
2 論説：古典学者のやぶにらみ27 ベストもワーストも少数にしかありえない(『表

- 現者』30 隔月刊行雑誌 平成22年4月) 108~112頁
- 3 論説：古典学者のやぶにらみ 28 このまま出て行ってもらったら (『表現者』31 隔月刊行雑誌 平成22年6月) 100~104頁
 - 4 時流の河床を透かし見れば (22) 北京の今昔と周作人 (『表現者』31 194~199頁)
 - 5 保田與重郎と近代・日本・古典1 愛する郷里を後にして (『表現者』32 隔月刊行雑誌 平成22年8月) 98~104頁
 - 6 保田與重郎と近代・日本・古典2 書くことへの欲望あるいは剽窃の精神 初期の文章をめぐって (1) (『表現者』33 隔月刊行雑誌 平成22年10月) 122~127頁
 - 7 座談会：民主主義文明の没落 (『表現者』30 隔月刊行雑誌 平成22年4月)、出席者 柴山桂太 西村幸祐 杉原志啓 佐藤洋二郎 西部邁 前田雅之 (司会 富岡幸一郎)、26~74頁
 - 8 社会的活動：司法試験予備試験考査委員 (平成22年11月から)

D : 1 ゼミ：日本文化演習 (三年生) では、『古今集』夏部をとりあげ、『両度聞書』を中心として古注を網羅的に調査すること、当該歌の派生歌・影響歌を徹底的に調査することをゼミ生に課し、一年を終えることができた。結果は、歌数は少ないとはいえ、夏部を読了することができた。学生は和歌なるものが少しは了解したと思う。

松本尚久

- A : 1 著書：『芸と噺と 落語を考えるヒント』(扶桑社) 5月30日発行
 - 2 著書：『落語の聴き方 楽しみ方』(筑摩書房) 12月8日発行
- C : 1 フジテレビのインターネット配信番組
フジポッド「つか金フライデー」出演。(テーマ「落語」) 8月20日配信号および8月27日配信号。
- 2 文化放送「浜美枝のいつかあなたと」出演。(テーマ「落語」) 7月18日放送。
 - 3 ラジオ日本「立川志ら乃のサブカル天国」出演。(テーマ「落語」) 11月29日放送。
- D : 1 年間を通じ落語会「浜松町かもめ亭」(文化放送主催)、「人形町らくだ亭」(小学館主催)のプロデュース・構成を担当。

丸山正義

- A : 1 (論文)「『水の反映』—— ジヴェルニーの「睡蓮の池」、モネとドビュッシーをめぐる随想」明星大学研究紀要【日本文化学部・言語文化学科】第18号、2010. 3. 25. pp. 85-100.
- B : 1 (講演)「文学・演劇・オペラ」第5回明星大学教養セミナー 2010. 7. 17.

三橋 正

- A : 1 (単著)『日本古代神祇儀礼の形成と展開』、法藏館、全 600 頁、2.28
 2 (共著)新アジア仏教史 11 日本 1『日本仏教の礎』、佼成出版社、全 467 頁、第 6 章「院政期仏教の展開」pp.303-350 執筆、8.30
 3 (註釈)『左経記』治安二年(一〇二二)条 書下し文』、『明星大学紀要—日本文化学部言語文化学科—』18 号、pp.51-68、3.31
- B : 1 (総合司会)パネル「談義書研究の最前線—日本中世の学問寺院—(Seminary Temples in Medieval Japan: The Forefront of the Reserch on “Dangisho” Temples)」(英語)、第 20 回国際宗教学宗教史学会 (IAHR TORONTO 2010, The 20th World Congress of the Inetenational Association for the History of Religions)、於トロント大学、8.20
 2 (研究活動)『『小右記』註釈と平安時代データベースの作成』、文科省科学研究費(基盤研究 C)、研究代表者
 3 (研究活動)「日記の総合的研究」、国際日本文化研究センター、共同研究員
 4 (学会活動)日本仏教総合研究学会評議委員
 5 (学会活動)戒律文化研究会委員
 6 (学会活動)平安・寺院史研究会運営委員
- C : 1 (講演)「How did the Japanese image their gods?」(英語)、ロンドン大学アジアアフリカ学院 (SOAS) CSJR Seminar、5.13
 2 (講演)「On annotating a Heian noble's diary and syncretic religious texts」(英語)、ロンドン大学アジアアフリカ学院 (SOAS) JRC Lecture、6.2
 3 (セミナー)「漢文(『小右記』講読会)」、ロンドン大学アジアアフリカ学院 (SOAS) の教員などを対象に漢文講読を指導、5.5 から全 18 回
- D : 1 (学術調査)静嘉堂文庫『諸社禁忌』調査、1.8
 2 (学術調査)インドの宗教史跡調査、3.26-4.9
 3 明星大学特別研究期間制度によりロンドン大学アジアアフリカ学院 (SOAS) にて在外研究、4.9-7.4、8.10- (2011.3.15)
 4 (学術調査)スコットランドの宗教史跡調査、6.8-17
 5 (学術調査)南イングランドの宗教史跡調査、6.24-7.2
 6 (国際学会および学術調査)トロント大学での第 20 回国際宗教学宗教史学会 (IAHR TORONTO 2010, The 20th World Congress of the Inetenational Association for the History of Religions)に参加、その前後にアメリカのニューイングランドの宗教施設・博物館を調査、8.14-30
 7 (国際学会)ロンドン大学アジアアフリカ学院 (SOAS) における The British Association for Japanese Studies に参加、9.9-10
 8 (学術調査)イタリアの宗教史跡調査、9.13-21

- 9 (学術調査) British Museum (大英博物館) の日本宗教絵画調査、10.5
- 10 (学術調査) 南イングランドの宗教史跡調査、10.10-11
- 11 (学術調査) 北イングランドの宗教史跡調査、10.24-25
- 12 (学術調査) トルコの宗教史跡調査、10.29-11.10
- 13 (国際学会および学術調査) Sainsbury Institute for the Study of Japanese Arts and Cultures における講演に参加、Norwich と Walshingham の宗教施設調査、11.18-19
- 14 (学術調査) アイルランドと北ウェールズの宗教史跡調査、11.27-30
- 15 (学術調査) ベルギー・オランダ・ドイツ・ギリシャ・イタリア・フランス・スペインの宗教史跡調査、12.16-2011.1.16
- 16 小右記講読会で『小右記』長和二年条を『御堂関白記』などと比較しながら読む
- 17 大正大学総合佛教研究所で『麗気記』後半諸巻の註釈(出版準備)作業を進める
- 18 玉葉講読会で『玉葉』治承四年条を読む

山下善明

- A : 1 「自然と歴史——西尾幹二著『江戸のダイナミズム』からの小考」、『明星大学研究紀要』・日本文化学部・言語文化学科〔編〕第18号、pp 105-115, 3.25.
- B : 1 (研究発表)「東洋と西洋の“統合”——同一性の概念を媒ちとして」、統合学術国際研究所、京都研究会、立命館大学末川記念館、8.25.

山本陽子

- A : 1 (論文)「「洞窟の頼朝」の顔貌—近代日本画における武者表現—」(『明星大学研究紀要』[造形芸術学部・造形芸術学科]第18号 明星大学青梅校編 pp.27-33 3.25.
- 2 (論文)「あばら家の美学—絵巻に描かれた荒廃—」『明星大学研究紀要』[日本文化学部・言語文化学科紀要]第18号 明星大学青梅校編 pp.95-103 3.25.
- 3 (論文)「「粉河寺縁起絵巻」の長者の娘の出家について—縁起絵巻と説話—」高橋亨編『平安文学と隣接諸学』10「王朝文学と物語絵」pp.425-448 竹林舎 5.10.
- B : 1 (シンポジウムコメンテーター)「日本の宗教絵画に関する異分野融合型国際教育・研究集会」第二部「院政期から鎌倉期の宗教施策に関する研究—南都絵画を視座として」討論会 於筑波大学 2.11.
- 2 (シンポジウム報告)「熊野曼荼羅に見る日本の神仏一切目王子を中心に」(「君主権の構築と「仏教」文明—日本列島を中心に—」於早稲田大学大隈小講堂) 12.11.
- 3 日本宗教文化史学会『日本宗教文化史研究』第28号編集委員
- 4 (研究資金の獲得)「明星大学蔵絵入り和本の基礎的研究とWEB公開、教育実践への応用」明星大学平成22年度特別研究費(共同研究助成費)(研究代表者)

- D : 1 「吹き出しで読む平家物語」(人間とかたち・うつくしさと文化6の受講生による展示) 於星友祭 10.31-11.2.
- 2 (表紙解説)「挿絵で見る平家物語」1~8 明星大学通信教育部報『めいせい』5月号~12月号(柴田雅生・矢吹道郎と共著)

